

INAX

取替用

保証書別添

定期点検情報掲載

リフレッシュ シャワートイレ タンク付 MC タイプ

DWT-MC83A 型・DWT-MC53A 型

リフレッシュ シャワートイレ タンク付 CC タイプ

DWT-CC83A 型・DWT-CC53A 型



袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

Shower toilet

取扱説明書



このQRコードは
メーカー管理用です。

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

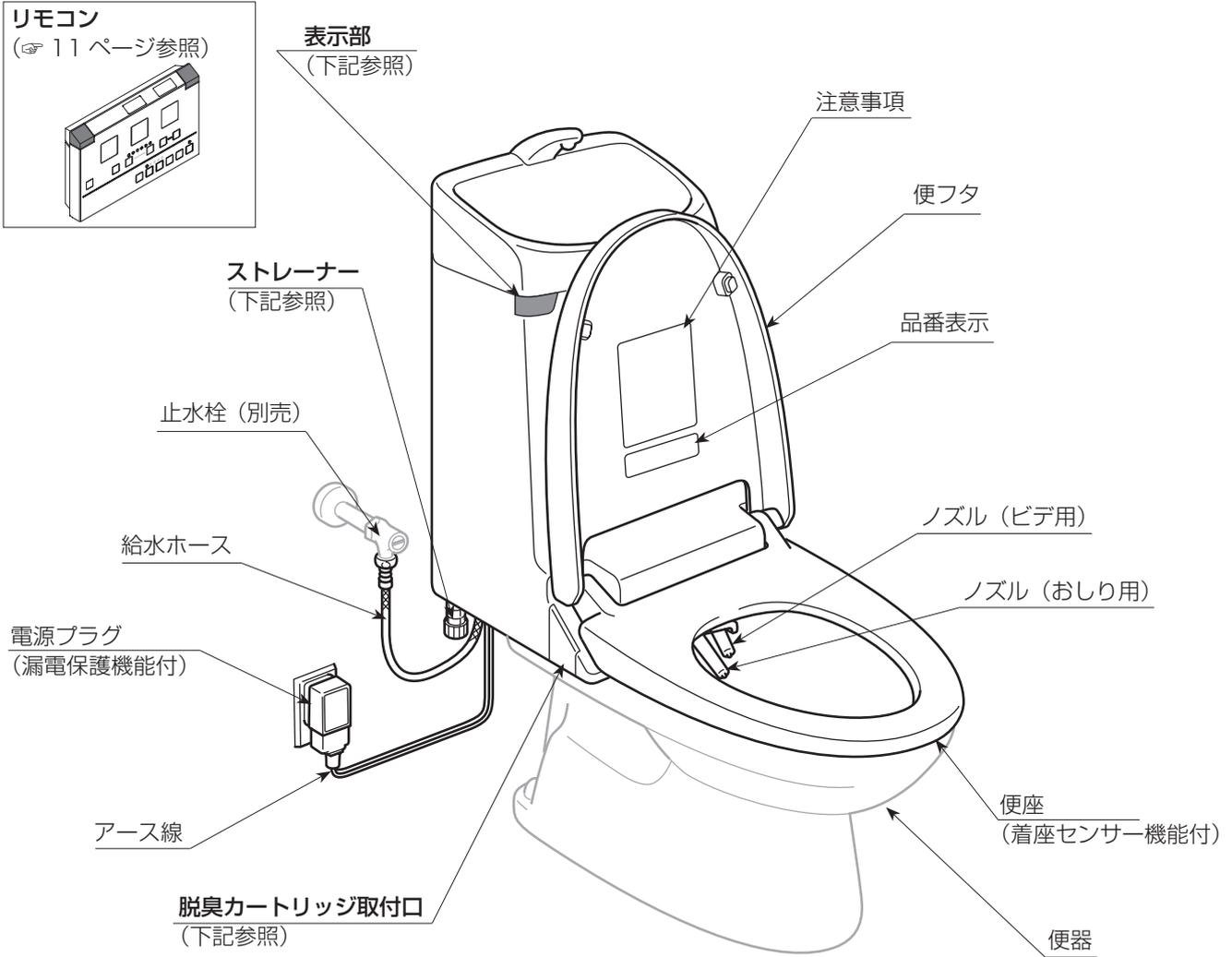
※この説明書は、シャワートイレ 2 機種共通のものです。

もくじ

各部のなまえ	1
安全上の注意	3
お取り扱い上の注意	7
お使いになる前に確認してください	9
ご使用方法	
●リモコン本体	11
●ご使用前の準備 (電源・便座・温水)	12
●基本機能の使いかた (おしり・ビデ洗浄)	13
(マッサージ洗浄・ワイド洗浄・洗浄位置)	14
(脱臭)	15
●快適機能の使いかた (便器洗浄)	16
(節電)	17
(より快適な機能)	18
●知っておいていただきたいこと	20
お手入れ方法	
●各部のお手入れ	22
●日頃のお手入れ	23
●電源プラグの点検	24
●便フタの外しかた (便フタまわりの隠れた部分の掃除)	25
●脱臭効果が弱くなった場合	26
●ロータンクへの給水時間が長くなりはじめたら	27
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら	27
●リモコンの電池交換	28
長期間使用しない場合	30
冬期凍結の恐れがある場合	31
修理を依頼される前に	
●故障かなと思ったら	34
●便器洗浄水がなかなか止まらない場合	37
安全・安心にお使いいただくために	39
アフターサービス	42
別売品のご案内	45
仕様	46
LIXIL お客さま窓口	裏面

各部のなまえ

■全体図

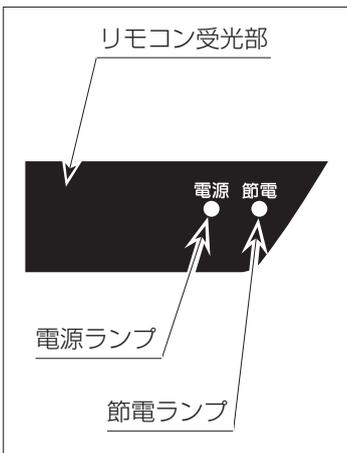


※ 操作は、リモコン操作のみになります。

※ 上図は、手洗付の場合です。

各部のなまえ

■表示部



■ストレーナー

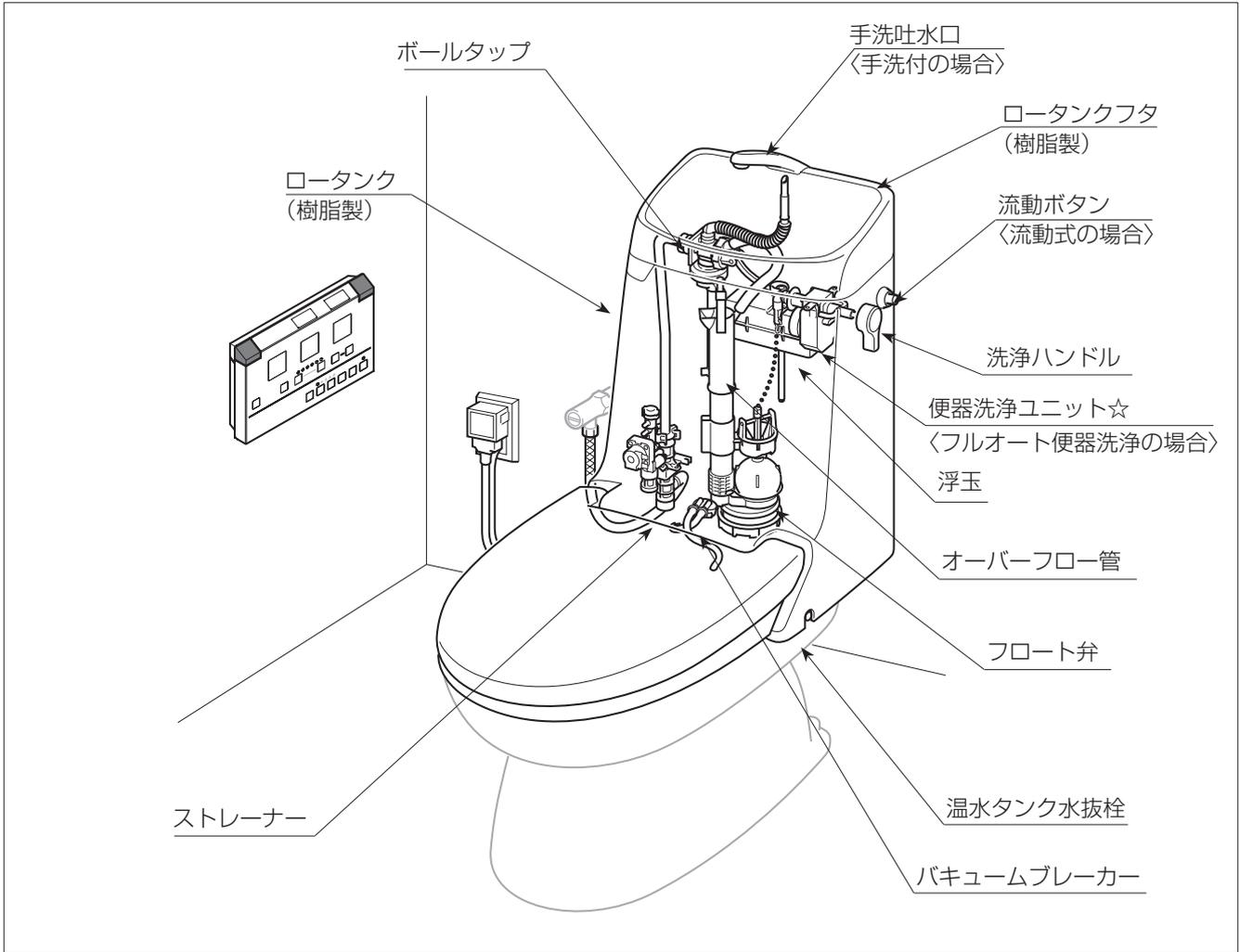


■脱臭カートリッジ



■ロータンク内部

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



●保有機能一覧 (あり：○、なし：—、オプション：△)

商 品 名	番 ^{*1}	リフレッシュ シャワートイレ (タンク付)	
		MC タイプ	CC タイプ
		DWT-MC83A 型	DWT-CC83A 型
		DWT-MC53A 型	DWT-CC53A 型
おしり洗浄	☞ 13-14	○	○
ビデ洗浄	☞ 13-14	○	○
ワイド洗浄	☞ 14	○	○
洗浄位置調節	☞ 14	○	○
おしりマッサージ洗浄	☞ 14	○	○
節電	☞ 17	○	○
Wパワー脱臭	☞ 15	○	○
フルオート便器洗浄 (リモコン便器洗浄)	☞ 16	○	△ オプション流せるもん ^{*2}

※1 品番は、便フタ裏の品番表示に記載されています。(☞ 1 ページ) お持ちの機能を確認ください。

※2 オプション流せるもんは CWA-69 が必要です。(☞ 45 ページ)

安全上の注意 (必ずお守りください。)

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意 この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。



. この表示は「注意しなさい!」の記号です。(上記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

. この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

. この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

警告

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。

※ 身体への著しい障害をまねく恐れがあります。



指示実行

● 長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。

● 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。

〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

※ 「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。



指示実行

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。

※ 感電・火災の原因になります。



水場使用禁止



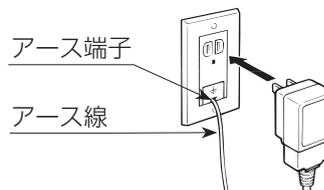
確実にアース線をアースターミナルに接続してください。

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。

※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。



アース接続



警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。



分解禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。

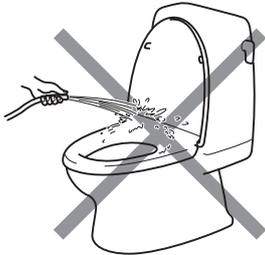


禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。



水かけ禁止



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。

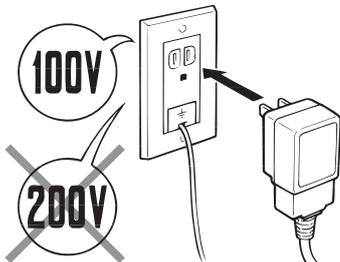


ぬれ手禁止

● 交流 100V 以外では使用しないでください。
● タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。



禁止



電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。



指示実行

● シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。



指示実行

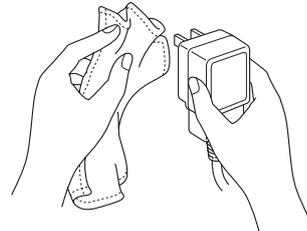
● シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。

※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。
※ ホコリが火災の原因になります。



指示実行



電池は以下の事を守り、正しく使用してください。



指示実行

- ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行ってください。
※ 電池の液もれにより火災の原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。
※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

警告

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池と一緒に使用しないでください。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れてたりしないでください。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



禁止

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。

(31、32、33 ページ参照)

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。



指示実行

注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。

※ 感電・火災の原因になります。



禁止



便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

※ 破損部でケガをすることがあります。早めに交換してください。



接触禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。

※ 火災の原因になります。



火気禁止

便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤は使用しない。

※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

便器に熱湯を注がないでください。また、衝撃を与えないでください。

※ 破損や漏水の原因になります。



禁止

便フタや本体の上に乗らないでください。

※ 破損してケガをすることがあります。



禁止

便フタにもたれないでください。

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。



禁止

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

⚠ 注意

水道水以外に接続しないでください。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。



禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れしないでください。
※ ケガの原因になります。

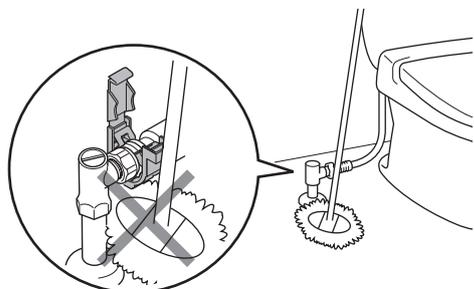


禁止

清掃時など、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けたりしないでください。
※ クリップの破損などにより給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。



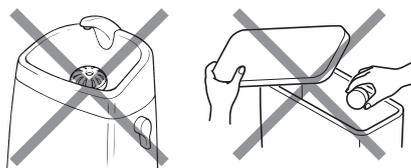
禁止



- タンク手洗部に芳香洗剤や薬品、石けんなどを置いたりタンク内部に入れたりしないでください。
- タンクの清掃に、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤を使用しないでください。
※ 漏水や止水不良、作動不良の原因になります。



禁止



定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。
※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが見えず、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。(30 ページ参照)
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

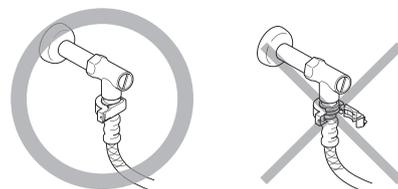


指示実行

クリップは給水ホースに、確実にハマっている事を確認してください。
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



指示実行



次のような方が使用されるときには、周りの方が転倒に注意してください。
〔お子さま、お年寄り、ご自分で座ることや立ち上がることができない方〕
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。



指示実行

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



指示実行

お掃除のときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※ 感電の恐れがあります。

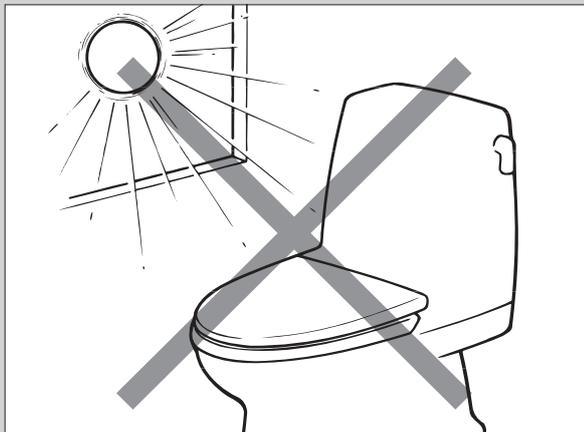


指示実行

お取り扱い上の注意

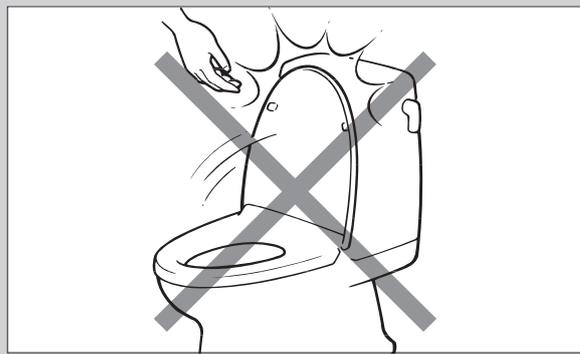
■故障を起こさないために守ってください。

直射日光が当たらないようにしてください。
※ プラスチック部が変色することがあります。



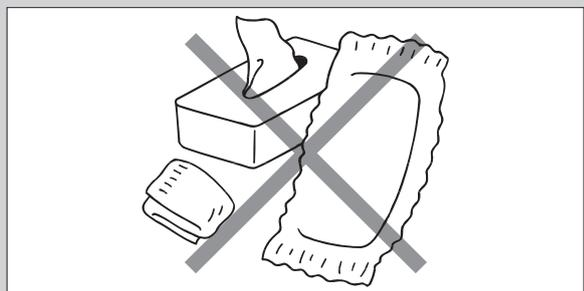
便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。

※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。



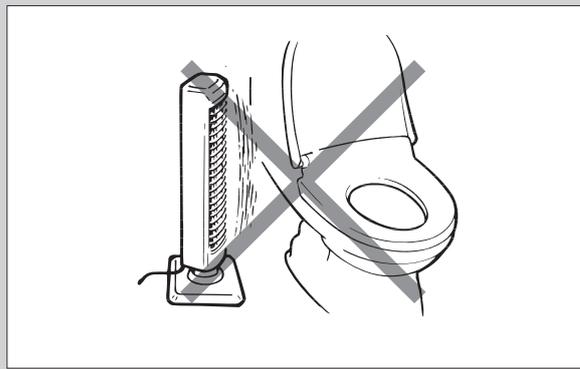
トイレットペーパー以外の紙を使用したり、便鉢に配管がつまるような異物を落とさないでください。

誤って落とした場合は、水を流す前に拾いだしてください。



シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。

※ 変色や故障の原因になります。



万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。

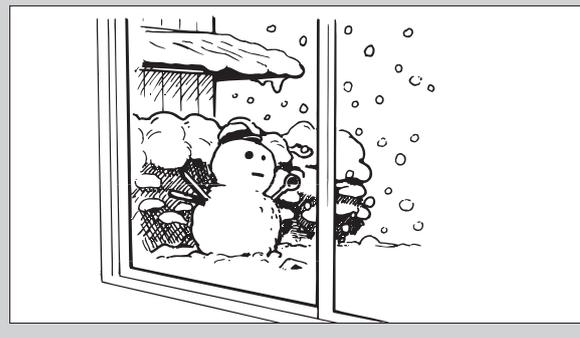
詰まったまま水を流さないでください。

※ 便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。

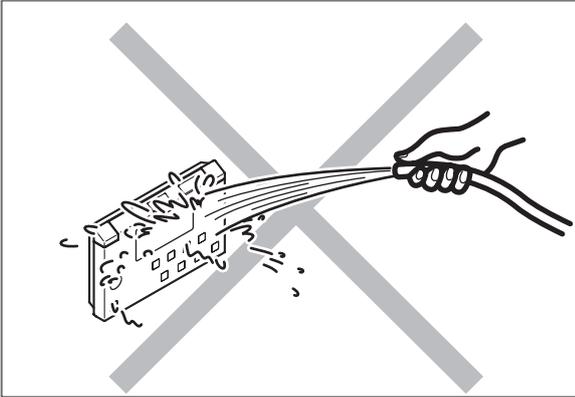


凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。

(☞ 31、32、33 ページ)



リモコンに水や洗剤をかけないでください。
 ※故障の原因となることがあります。



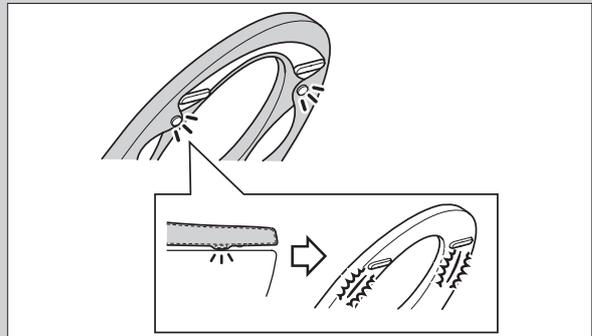
ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
 ※故障の原因になります。

〈フルオート便器洗浄付の場合〉
 洗浄時に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、流れっ放しになる場合があります。その際は、洗浄ハンドルを戻してください。(☞ 16 ページ)

本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
 ※傷つきの原因になります。
 詳しいお手入れ方法は23ページをご覧ください。

プラスチック部に、トイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
 かかった場合は、すぐにふき取ってください。また、ヘアスプレーなどをご使用の場合は、室内に成分が留まらないよう、十分な換気を行ってください。
 ※光沢が無くなることがあります。
 ※故障の原因になります。

不適切な便フタカバー・便座カバーを取り付けないでください。
 ※他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。
 ※便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れる場合があります。
 ※着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
 ※カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくる場合があります。

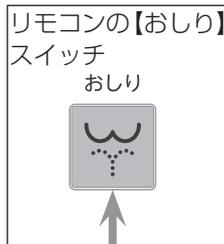


お使いになる前に確認してください

シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

お使いになる前に確認してください

1 止水栓が開いていることを確認します。
(☞下記参照)



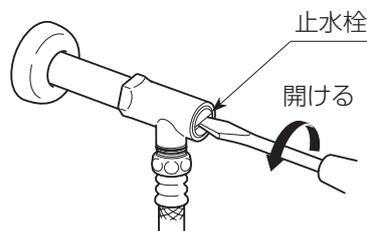
3 おしり洗浄を確認します。
(☞次ページ参照)

2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。(☞次ページ参照)

- ※ 止水栓を閉めすぎると、ロータンクへの給水時間が長くなったり、手洗い水が出ないことがあります。
- ※ ロータンクへの給水中、便器の中に少しずつ水が流れる場合があります。

1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。



⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。

※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。

※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。



⚠ 警告

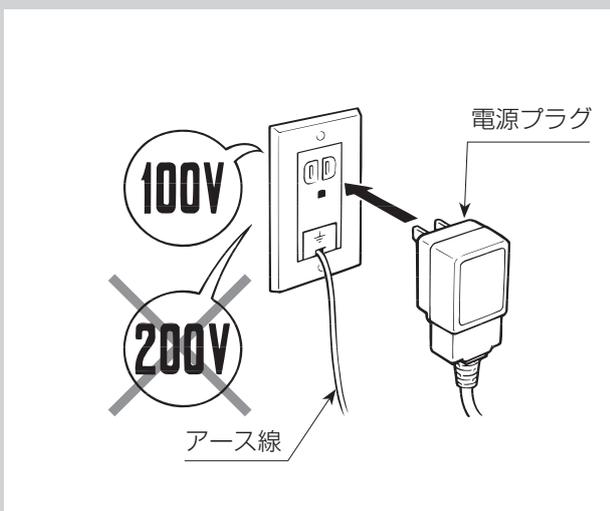
● 交流 100V 以外では使用しないでください。

● タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。



2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。

1. アース線をコンセントのアース端子に接続します。
2. 電源プラグを交流 (AC) 100V のコンセントに差し込みます。

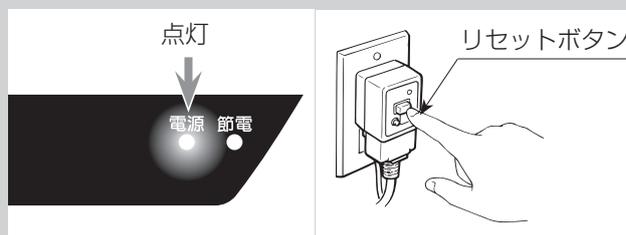


3. 本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

本体表示部の電源ランプ (赤色) が点灯します。もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。

注意

電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

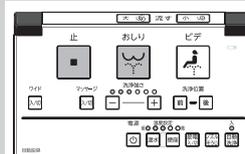


※ 電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。

3 おしり洗浄を確認します。

1. 腕を便座にのせます。
2. 【おしり】を押します。
3. ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。
4. シャワーを止めるときは、【止】を押します。

ご使用方法 (11 ページ以降) をご覧になって他の機能も確認してください。



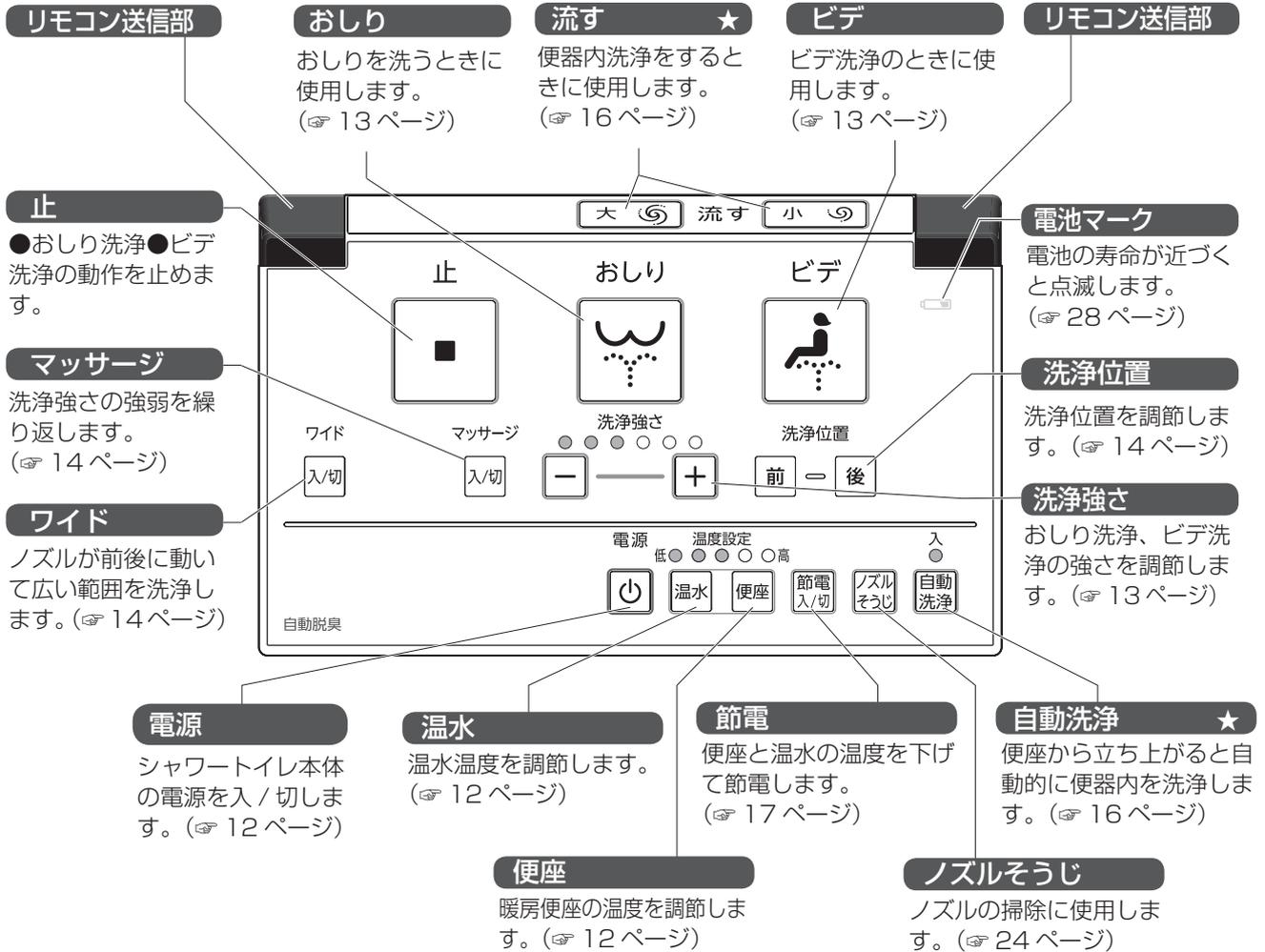
※ 人が便座に座ったことを感知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭は、着座していないと作動しません。

ご使用方法

リモコン本体

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

● 操作部



※脱臭はスイッチがありません。便座に触れると、自動でファンが作動します。(☞ 15 ページ)

《ご使用前の準備》

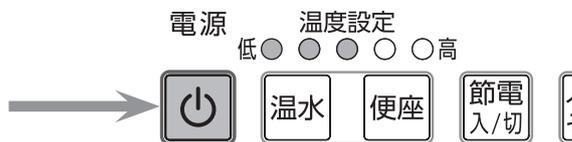
シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

【電源】を押して電源の入／切をします。

※電源が入ると本体表示部の電源ランプが点灯します。

※購入後、はじめて電源プラグをコンセントに差し込むと、電源は「入」の状態になります。



■温水（シャワーの温めかた）

温水温度は6段階「切（水温）」、「低（約32℃）」～「高（約40℃）」に切り替えできます。季節に応じてお好みの温度でご使用ください。

【温水】を押してシャワーの温度を調節します。

※【温水】を押すたびに、表示ランプが切り替わります。

※表示ランプは数秒後に消灯します。

■便座（便座の暖めかた）

便座温度は6段階「切（室温）」、「低（約28℃）」～「高（約40℃）」に切り替えできます。季節に応じてお好みの温度でご使用ください。

【便座】を押して便座の温度を調節します。

※【便座】を押すたびに、表示ランプが切り替わります。

※表示ランプは数秒後に消灯します。



温度設定	ランプ表示(○:消灯、●:点灯)		
	低	中	高
切	○ ○ ○ ○ ○		
低(お買上げ時)	● ○ ○ ○ ○		
	○ ● ○ ○ ○		
	○ ○ ● ○ ○		
	○ ○ ○ ● ○		
高	○ ○ ○ ○ ●		

切り替わる順番

参考

- シャワーと便座はすぐには温まりません。あらかじめ使用する10～15分前にお好みの温度に設定しておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオートOFF”機能が付いています。(☞18ページ参照)
- 便座温度「(中)」の設定温度だけを2℃下げることができます。(☞18ページ参照)

⚠ 警告

- 長時間使用するときには、便座温度を「切」にしてください。
 - 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
- ※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。



指示実行

《基本機能の使いかた》

■おしり洗浄

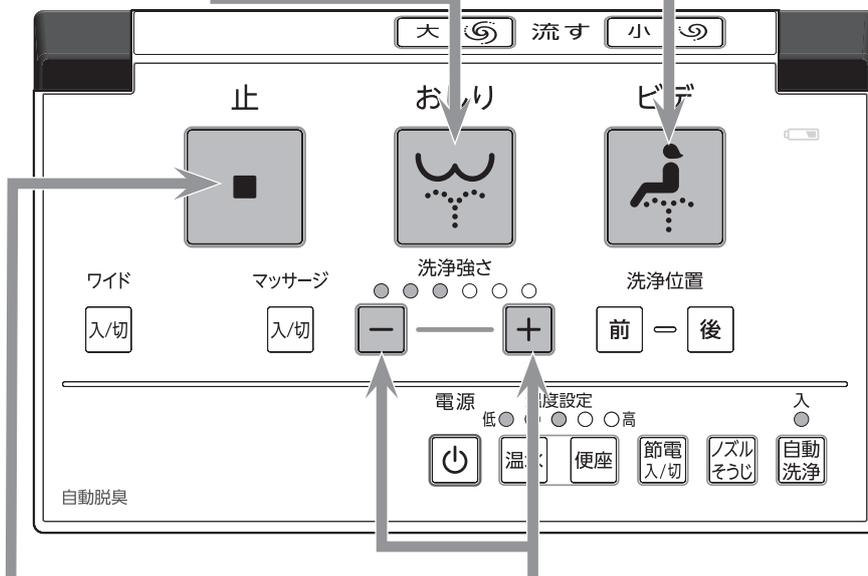
おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
洗浄時間は10秒～20秒を目安にご使用ください。

1 【おしり】を押します。

■ビデ洗浄

ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
洗浄時間は10秒～20秒を目安にご使用ください。

1 【ビデ】を押します。



3 止めるときは【止】を押します。

※おしりおよびビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

2 洗浄強さの【-】または【+】を押して洗浄の強さを調節します。

※洗浄強さは6段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々に好みのお好みの水勢でご使用ください。
※表示ランプは数秒後に消灯します。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。このような場合は、一度洗浄強さを強くしてからご使用ください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、直腸内部、膣内部、尿道内部は洗わないでください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

※ノズルオートクリーニングについて

おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

参考

洗浄強さを一番強くしてもまだ弱い、または一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最強または最弱にする機能が付いています。
(☞19ページ参照)

■マッサージ洗浄

おしり洗浄中、洗浄強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。

- ※ ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。
- ※ マッサージ洗浄の感じ方には個人差があります。

1 おしり洗浄中に【マッサージ】を押します。

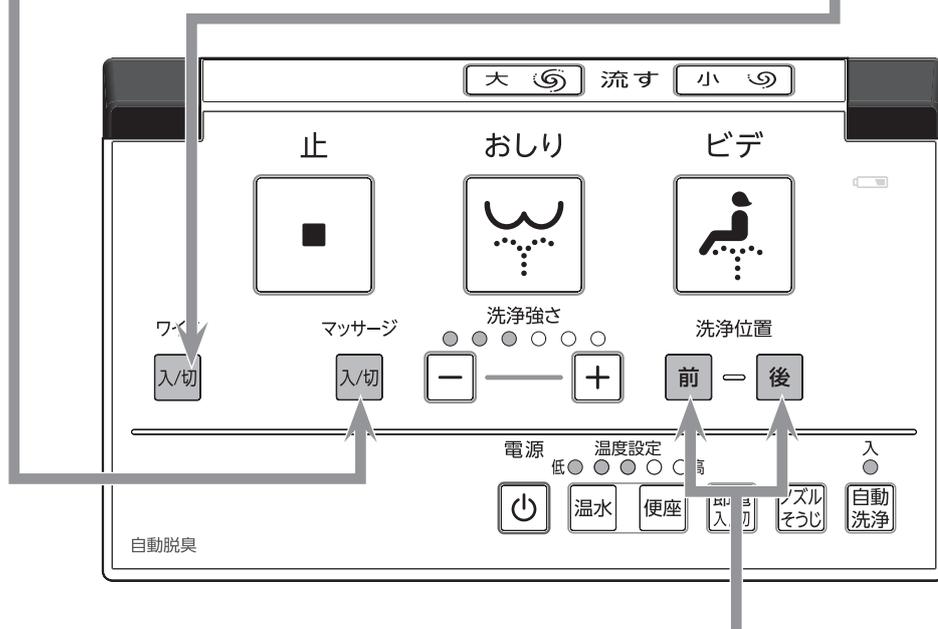
2 止めるときは再び【マッサージ】を押します。

■ワイド洗浄

おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

1 おしりまたはビデ洗浄中に【ワイド】を押します。

2 止めるときは、再び【ワイド】を押します。

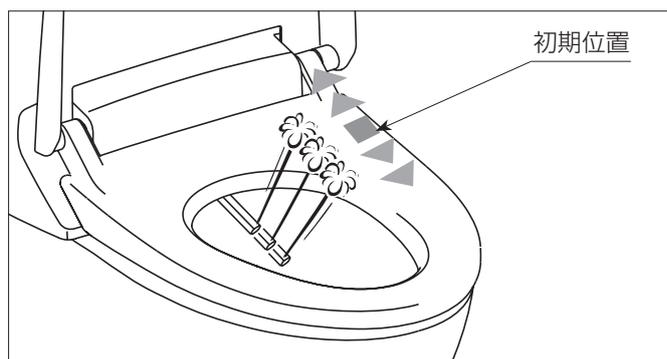


■洗浄位置の調節

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を前後に全 5 段階に調節することができます。
(初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段)

洗浄位置の【前】または【後】を押します。

- ※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



■脱臭 (W パワー脱臭)

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。



※便器内のニオイを吸収・除去します。

2 便座から立ち上がります。

※脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。
 ※立ち上がってから 1 分後に自動停止します。
 ※シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。(☞ 26 ページ)

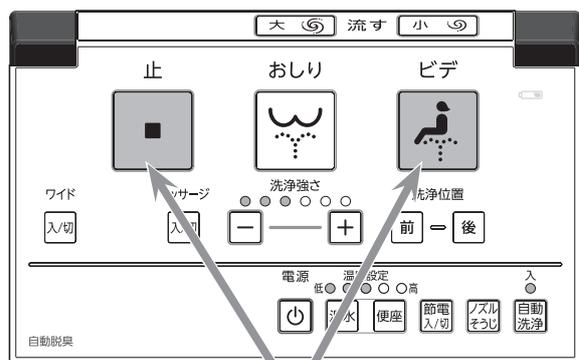
1 分後に停止



■脱臭を使用しない場合

【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。

※セット完了時、表示部の電源ランプが 2 回点滅し、脱臭ファンは作動しなくなります。
 ※再び、使用する場合も【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。



同じタイミングで 2 秒以上押します。

《快適機能の使いかた》

■便器洗浄

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

便器洗浄には3通りの方法があります。

1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う“フルオート便器洗浄”。
2. リモコンの【流す】スイッチを押して便器洗浄を行う“リモコン便器洗浄”。
3. ロータンク側面の洗浄ハンドルを操作して行う“手動洗浄”。

1. フルオート便器洗浄のしかた ★

【自動洗浄】を押す。

【自動洗浄】を1回押すと、自動洗浄の設定を確認できます。設定を変更するには5秒以内にもう1回押してください。自動洗浄ランプが点灯・・・自動で便器洗浄をする

↓ ↑
自動洗浄ランプが消灯・・・自動で便器洗浄をしない



※お買い上げ時は「入」になっています。

※フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50秒以上：大洗浄」・「50秒未満：小洗浄」を行います。ただし50秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。

※フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約6秒後に便器洗浄します。この6秒を約15秒後に切り替えることができます。(☞18ページ参照)

注意

- 小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。
- フルオート便器洗浄中に電源プラグを抜かないでください。※洗浄水が流れっ放しになります。

参考

- 「入」のとき自動洗浄ランプは数秒後に消灯します。
- 【止】を押すと、自動洗浄の設定を確認できます。(おしり / ビデ洗浄中および電源 OFF 中は除く)

2. リモコン便器洗浄のしかた ★

流す【大】：大便時に押します。
流す【小】：小便時に押します。



※大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。

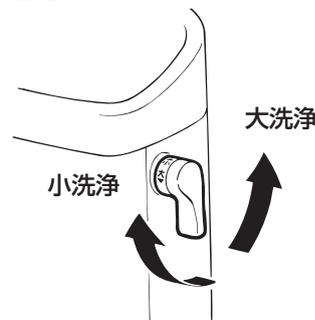
注意

- 小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、「大」の方でご使用ください。
- 一回目の便器洗浄から間を置かずに二回目を行うと、洗浄ができない場合があります。このようなときは、しばらく間を置いてから手動洗浄にて洗浄を行ってください。

3. 手動洗浄のしかた

【大】：大便時、奥に回します。
【小】：小便時、手前に回します。

※大便時に「小」側に回すと、汚物が流れないことがあります。



節電

節電機能にはスーパー節電とワンタッチ節電の2種類があります。

1. **スーパー節電**： 使用していないときは、温水と便座の温度を下げ、消費電力を抑える節電です。
2. **ワンタッチ節電**： 長時間使用しない夜間など【節電】を押してから8時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。8時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電を併用することで、効果的な節電が行えます。

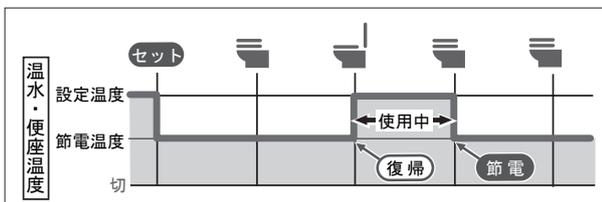
1. スーパー節電（常時）

- 1 【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで2秒以上押します。（節電ランプ点滅下記参照）



2. ワンタッチ節電（8時間）

- 1 【節電】を押します。（節電ランプ点滅下記参照）

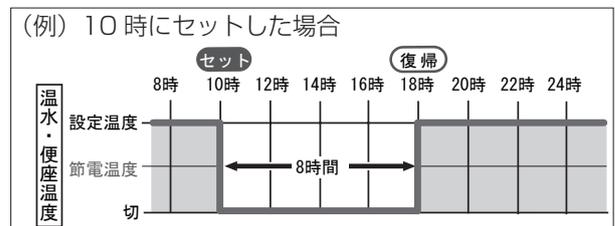


※ 使用していないときは常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、節電ランプ（赤色）が0.3秒間隔で2回ずつ点滅します。



- ※ ワンタッチ節電と併用した場合、節電ランプの点滅はワンタッチ節電になります。
- ※ ワンタッチ節電作動中は、スーパー節電の設定解除ができません。一度、ワンタッチ節電を解除してください。

- 2 使用しないときは、再び【節電】と【ノズルそうじ】を同じタイミングで2秒以上押します。（節電ランプ消灯）



※ ワンタッチ節電が作動しているときは、節電ランプ（赤色）が0.5秒間隔で1回ずつ点滅します。



- ※ 8時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプ（赤色）は点滅から消灯に切り替わります。
- ※ ワンタッチ節電は1日に、何度でも設定できます。

- 2 解除するときは、再び【節電】を押します。（節電ランプ消灯）

- ※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
- ※ 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

■より快適な機能

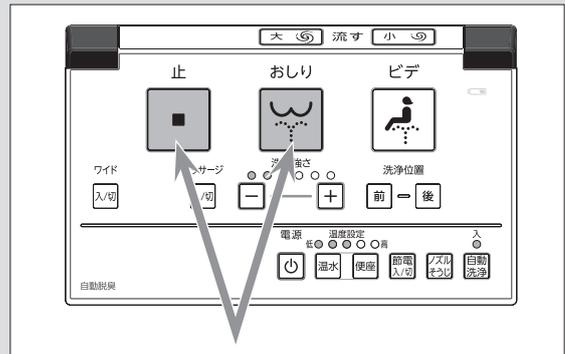
便座ヒーターオート OFF について

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

- 【止】 + 【おしり】 を同じタイミングで 2 秒以上押します。
(セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。)
- 解除も同じ方法で行います。

※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。

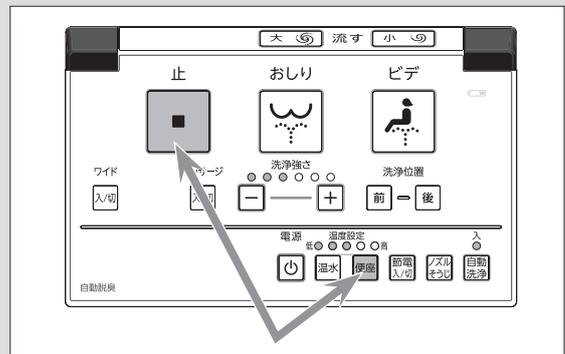


便座温度「(中)」の設定温度変更について

便座温度「(中)」の設定温度を 2℃下げることができます。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

- 【止】 + 【便座】 を同じタイミングで 2 秒以上押します。
(セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。)
- 解除も同じ方法で行います。

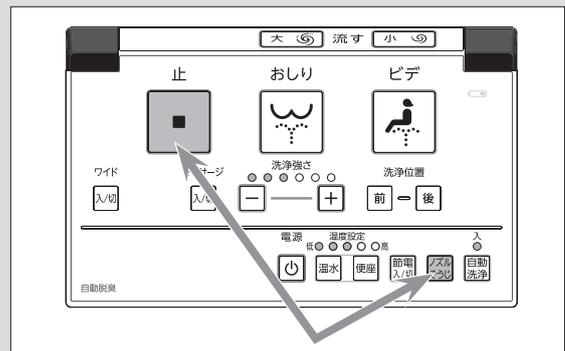


フルオート便器洗浄開始時間について〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■切替方法

- 【止】 + 【ノズルそうじ】 を同じタイミングで 2 秒以上押します。
(セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。)
- 元に戻すのも同じ方法で行います。

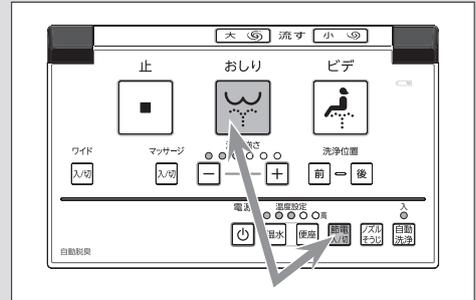


洗浄強さをさらに強く、またはさらに弱くしたいとき

おしり洗浄・ビデ洗浄の洗浄強さを一番強くしてもまだ弱いと感じる場合、洗浄強さ「強 (6段階の6番目)」をさらに1段階強くすることができます。

■セットおよび解除方法

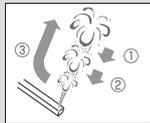
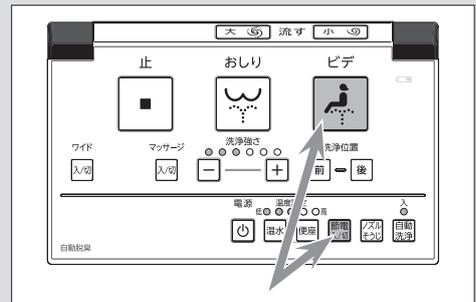
- 【おしり】 + 【節電】を同じタイミングで2秒以上押します。
(セット完了時、電源ランプが2回点滅します)
※お湯切れが早くなりますのでご注意ください。
- 解除も同じ方法で行います。



おしり洗浄・ビデ洗浄の洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと感じる場合、洗浄強さ「弱 (6段階の1番目)」をさらに2段階弱くすることができます。

■セットおよび解除方法

- 【ビデ】 + 【節電】を同じタイミングで2秒以上押します。
セット完了時、電源ランプが2回点滅して洗浄強さが1段階弱くなります。
弱くする設定は2段階ありますのでお好みの強さに調節してください。
※水圧の低い所では、最弱の設定にするとシャワーが届かないことがありますのでご注意ください。



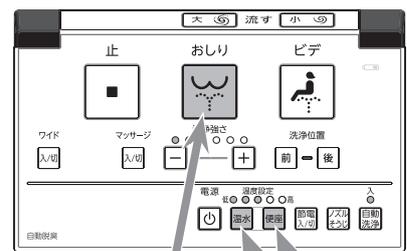
押すたびに洗浄強さが1段階ずつ弱くなり、3回押すと元に戻ります。

- 元に戻す場合は再度、【ビデ】 + 【節電】を同じタイミングで2秒以上押す操作を繰り返します。
合計3回目に元に戻ります。
- ※1段階弱くした場合は2回操作し、2段階弱くした場合は1回操作すると元の洗浄強さに戻ります。
- 操作のたびに電源ランプが2回点滅します。

《お買い上げ時の設定は》

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。この「快適な機能」などで設定を変更し、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、【おしり】 + 【温水】 + 【便座】を同じタイミングで2秒以上押してください。(セット完了時、電源ランプが2回点滅します。)

機能説明		お買い上げ時の設定
温水温度		低
便座温度		低
便座ヒーターオートOFF		切
便座温度「(中)」の設定温度		36℃
脱臭	自動脱臭	入
フルオート便器洗浄		入
		立ち上がってから6秒後に開始
節電	スーパー節電	切
	ワンタッチ節電	切
洗浄強さ	「強」をさらに強く	切
	「弱」をさらに弱く	切 (3段階中の最強)



同じタイミングで2秒以上押します。

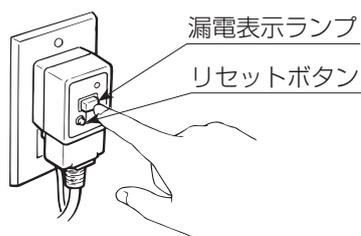
《知っておいていただきたいこと》

漏電表示ランプが点灯したとき

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。また、電源プラグに水がかかると漏電表示ランプが点灯する場合があります。

漏電表示ランプが点灯したときは、

1. 電源プラグをコンセントから抜き、20～30秒ほど間をおいて再び差し込みます。
 2. リセットボタンを押してランプを消灯させます。
- ※上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。



シャワーと便座の温度について

- おしりまたはビデ洗浄を長時間使用するとシャワーの温度がしだいに低下し、最後は水になります。

温水になるまで約10分間かかります。

- シャワーと便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度

切(水温)、低(約32℃)～高(約40℃)

便座温度

切(室温)、低(約28℃)～高(約40℃)

洗浄強さが「弱」ではノズルが出てこない。

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。このようなときは、洗浄強さを強くしてください。(P.13ページ)

ノズルの付近から出る水は？

シャワー使用時とその前後、および温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。※上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。



着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭の各機能がはたさきません。

また、便座に便座カバー・便フタカバーを付ける場合、不適切なカバーによっては着座センサーが入りっ放しになったり、または入らなかつたりして不具合が生じることがあります。

※便座に座っているときに停電し、そのままの状態でも停電が直った場合、おしり洗浄などの操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上り、1～2秒経ってから再度座ってください。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。

このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。



省エネについて

- 省エネのためには、以下の項目が有効です。
- 使用後は便フタを閉じておきましょう。
 - 便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
※ ただし、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
 - 便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
 - 春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
 - 節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
 - 長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。(☞ 31、32、33 ページ)

結露について

- 室温と便器・本体の表面温度差や湿度により、便器・本体の表面に水滴が生じることがあります(結露)。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。
- ※ 結露水は床のしみや破損の原因になります。
 - ※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温などの条件により結露する場合があります。

リモコンについて

- 電池の寿命が近づくと、リモコンの電池ランプが点滅します。
お早めに新しい電池に交換してください。
(電池交換は☞ 28 ページ)



トイレ用洗剤について

- お手入れには、**塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤**を使用しないでください。
- プラスチック部に使用すると、割れて**事故の原因**になります。「安全上の注意」(5 ページ) 参照
 - 便器(陶器部)に使用すると気化したガスによりシャワートイレの機能が**故障する原因**になります。

小用時について

- 洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- 着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

フルオート便器洗浄中に停電が起きた場合 〈便器洗浄ユニット付の場合〉

フルオート便器洗浄中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜くと、洗浄ハンドルが途中で止まり、洗浄水が流れっ放しになることがあります。このようなときは、下記の手順に従ってハンドルを元に戻してください。

- (1) 洗浄ハンドルを引っ張りながら下に降ろして洗浄水を止めます。このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。
- (2) 停電が終了したら、リモコンの流すスイッチを押して作動させます。
便器洗浄ユニット内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルを通常の位置まで戻します。

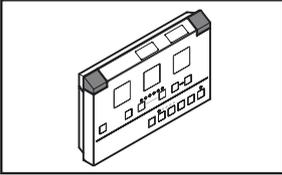


お手入れ方法

《各部のお手入れ》

このシャワートイレを末永くご使用いただくためにも以下のお手入れを実施してください。

リモコンの掃除
(☞ 23 ページ参照)
リモコンの電池交換
(☞ 28 ページ参照)



手洗鉢部の掃除
(☞ 23 ページ参照)

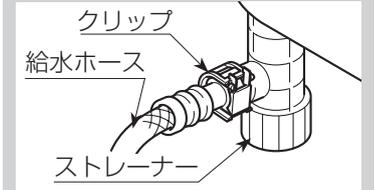
便フタを外して掃除
便フタやヒンジ部を掃除します。(☞ 23 ページ参照)

ストレーナーの掃除
ストレーナーに付着したゴミなどを取り除きます。(☞ 27 ページ参照)

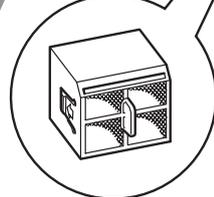
ノズルの掃除
(☞ 24 ページ参照)

注意

ストレーナーの掃除や、給水ホースを掃除するときは、ホースを止めているクリップが外れないように注意してください。外れた場合は、確実に取り付けてください。



電源プラグの点検
漏電保護作動を確認します。(☞ 24 ページ参照)



便座の掃除
(☞ 23 ページ参照)

便器の掃除
(☞ 23 ページ参照)

脱臭カートリッジの掃除・交換
カートリッジのホコリを取り去ったり、交換します。(☞ 26 ページ参照)

※**抗菌部位について**
ノズル・便座・便フタ・タンクカバー・タンクフタに抗菌樹脂を、リモコンには抗菌シートを採用しています。

- ※**KILAMIC 抗菌商品について**
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
 - KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染などが防げるわけではありません。
 - 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。



注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。
※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。



注意

- お手入れをするときは、必ず【電源】スイッチを押して、電源ランプが消灯していることを確認してください。

《日頃のお手入れ》

便座や便フタ・カバー類・リモコン（プラスチック部）のお掃除のしかた

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。

また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

● お手入れには当社純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。

市販の便座用洗剤なども使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。別売品の購入方法については 45 ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 25 ページ参照）

注意

● 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。

※ 傷つきの原因になります。

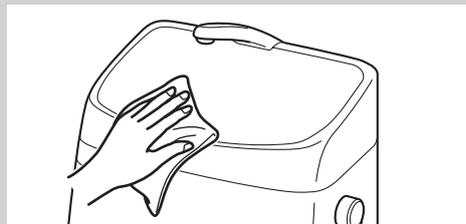
● リモコンのお掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ シャワートイレが誤作動することがあります。



手洗鉢のお掃除のしかた

手洗鉢は、柔らかい布かスポンジで水ぶきをしてください。かたいスポンジなどでお手入れしないでください。



便器（陶器部）のお掃除のしかた

樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。

便器のお手入れには当社純正のお掃除ブラシ（別売品）をおすすめします。別売品の購入方法については 45 ページをご覧ください。

熱湯などはお使いにならないでください。便器が破損することがあります。

注意

便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤は、使用しないでください。

※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。



《日頃のお手入れ (つづき)》

ノズルのお掃除のしかた

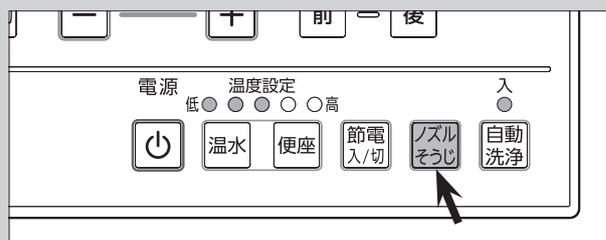
ノズルのお掃除には、以下の方法があります。

1. リモコンの【ノズルそうじ】を押して、水圧でノズルを洗浄します。“リモコンノズル洗浄”
2. しつこい汚れは、ノズルを手で引き出し、スポンジなどで掃除します。

1. リモコンノズル洗浄

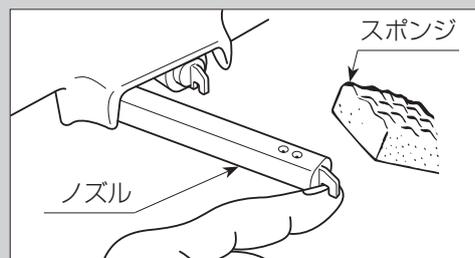
【ノズルそうじ】を押します。

- ※ ノズルが本体に収納されたまま、約5秒間洗浄します。
- ※ おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄するオートクリーニング機能が付いています。



2. スポンジなどでの掃除

- ノズルを引き出し、スポンジなどで掃除してください。
※ ノズルを無理に引張ったり、曲げたりしないでください。



《電源プラグ (漏電保護機能付) の点検》

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながる可能性があります。必ず点検を行ってください。
(目安としては月に1～2回程度です。)

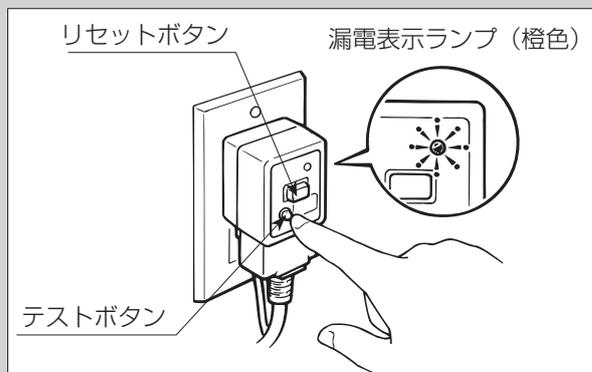
電源プラグの点検方法

1. 【電源】スイッチを押して「入」にし、本体表示部の電源ランプの点灯を確認します。
2. 電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認してください。
3. リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認してください。

※ この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。再度セットし直してください。

注意

電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。

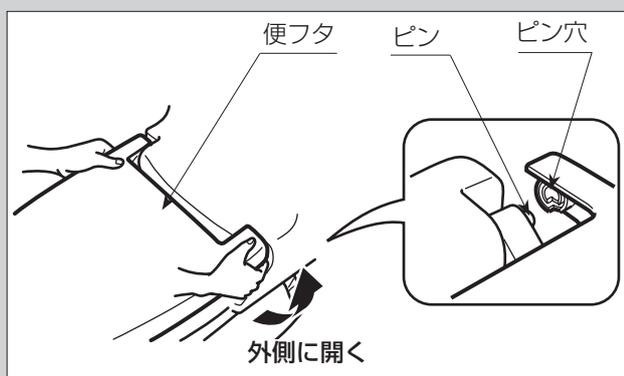


《便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分の掃除）》

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部をお掃除する時や便フタを丸洗いするのに便利です。

便フタの外しかた

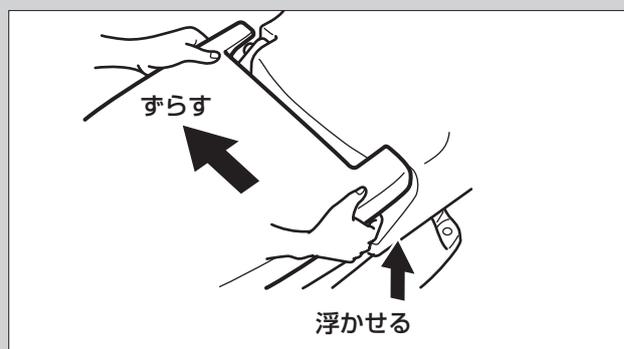
1. 【電源】スイッチを押して電源ランプを消灯させます。
2. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



3. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

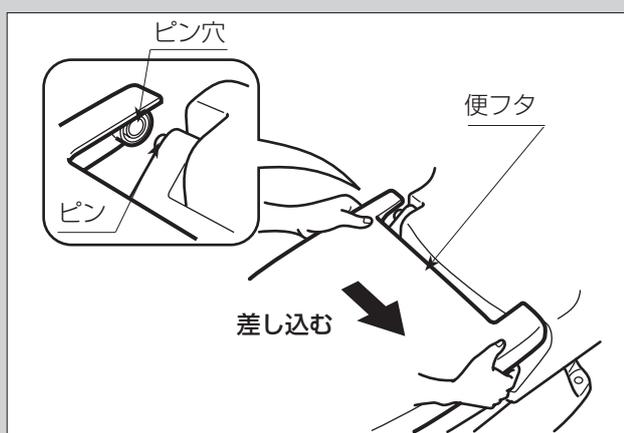
注意

強引に外そうとすると割れるなど破損の原因となります。

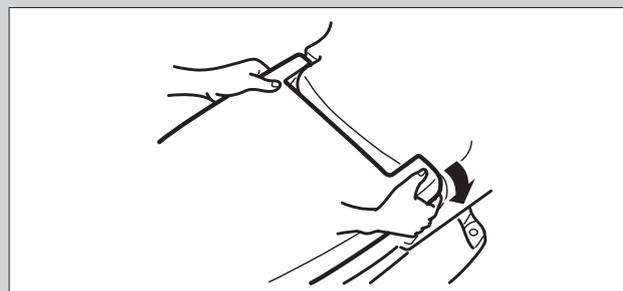


便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



3. 【電源】スイッチを押して電源ランプを点灯させます。

《脱臭効果が弱くなった場合》

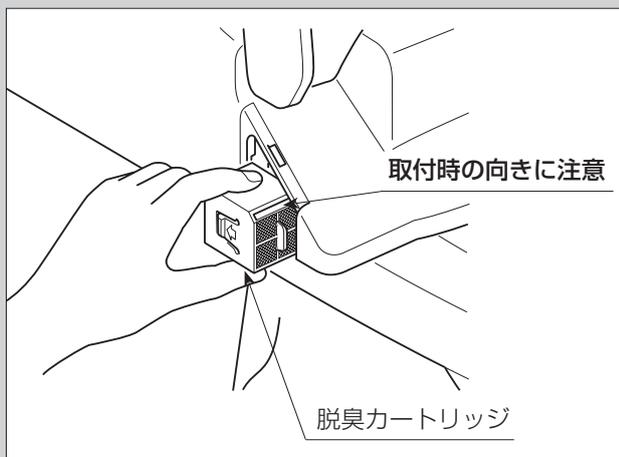
脱臭カートリッジにホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

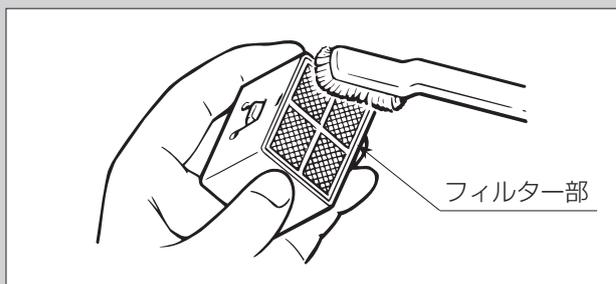
1. 脱臭カートリッジ取付口フタの下側を持ちながら、外します。



2. 脱臭カートリッジを引き抜きます。



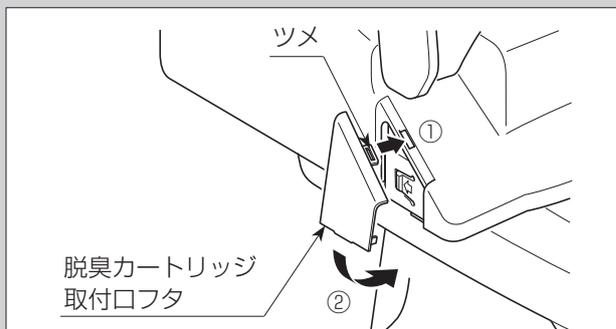
3. フィルターのホコリなどを歯ブラシなどで取り除きます。



注意

脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

4. 脱臭カートリッジを取付口に差し込み、フタ上部のツメをはめてから取り付けます。



注意

脱臭カートリッジは角が取れた部分を、前方上側にして差し込んでください。

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約7年です。

※ 脱臭カートリッジの寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、45ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年 月 日

《ロータンクへの給水時間が長くなりはじめたら》 《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

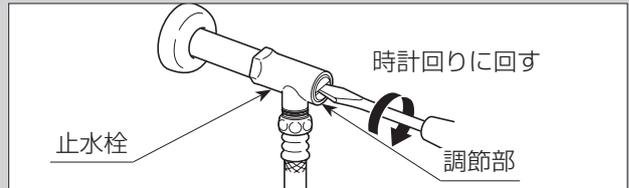
長期間使用してロータンクへの給水時間が長くなりはじめたり、シャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

注意

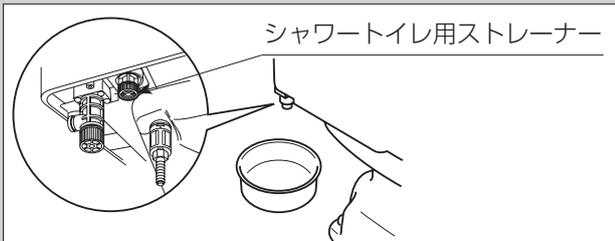
止水栓の調節部は樹脂製ですので、キズを付ける恐れがあります。必要以上に閉めすぎないでください。



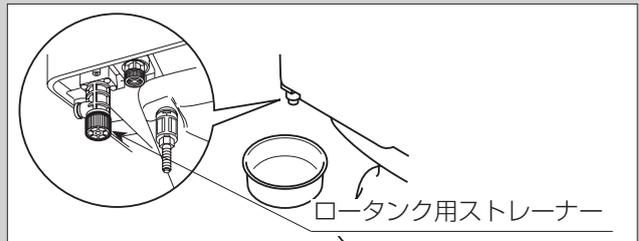
2. ロータンク左下のストレーナーを回して外します。

※このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。

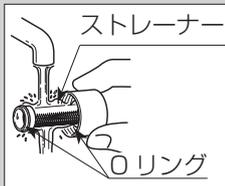
■シャワーが弱くなってきた場合



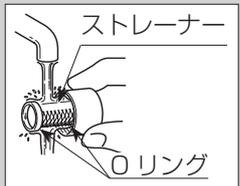
■ロータンクへの給水時間が長くなってきた場合



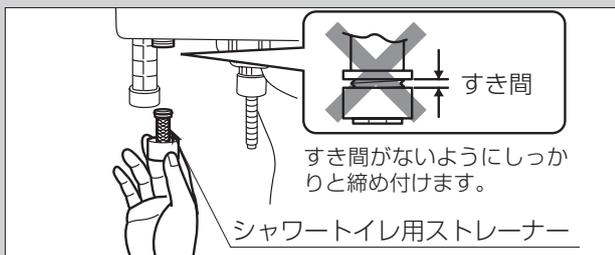
3. ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全にに取り除きます。



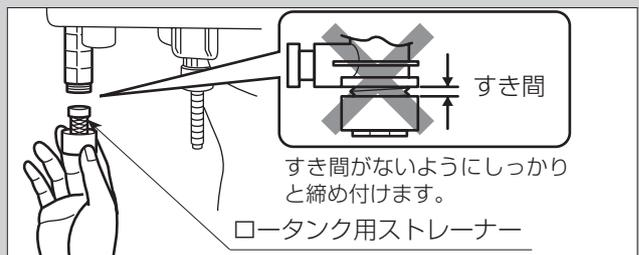
3. ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全にに取り除きます。



4. ストレーナーを確実に取り付けます。



4. ストレーナーを確実に取り付けます。



注意 2つのストレーナーを同時に外した場合は、取付口を間違えないようにしてください。

5. 止水栓を全開にします。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかりと閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



指示実行

《リモコンの電池交換》

電池の寿命が近づくと、電池ランプが点滅します。

- ※ 通常は消灯しています。
 - ※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。
 - ※ 部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）などにより、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。
- 下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

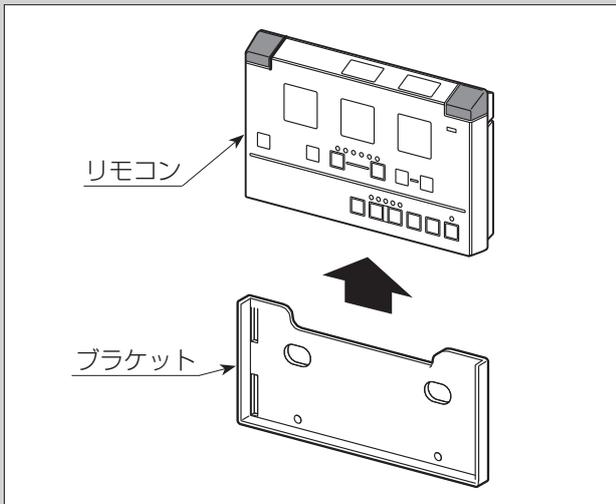


注意

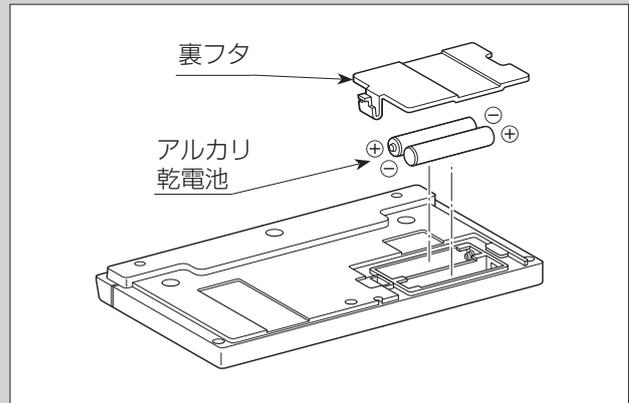
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。

リモコン電池の取替方法

1. リモコンを上を持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三形、2本）に取り替えます。



3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

警告

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。

- ⊕⊖を正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行ってください。
※ 電池の液もれにより火災の原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。
※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。



指示実行

警告

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れてたりしないでください。
※ 電池の液もれにより火災の原因となります。



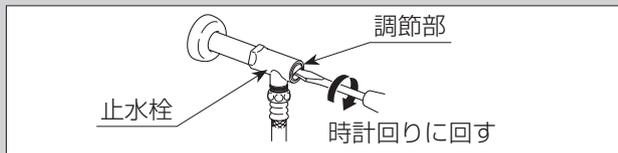
禁止

長期間使用しない場合

以下の場合には本体内部および給水ホースの水抜きを必ず行い、止水栓を閉め電源を抜いてください。

- 旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき（水が汚れて詰まりの原因になります）。
- 別荘などで使用しないとき（冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります）。

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。



注意

止水栓の調節部は樹脂製ですので、キズを付ける恐れがあります。必要以上に閉めすぎないでください。

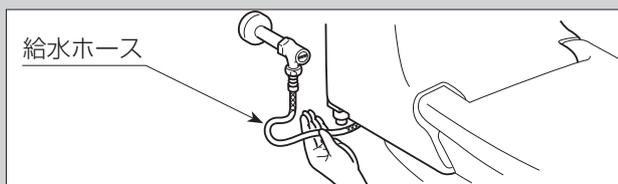
2. 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作して、ロータンク内の水を抜きます。

3. 給水ホースから水を抜きます。

- ① 洗面器などを置きます。
- ② ストレーナー（2ヶ所）を外し、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



- ③ 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



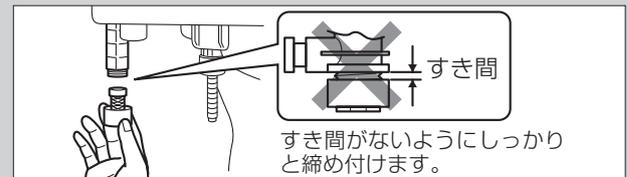
4. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

工具を使って、水抜栓を時計方向に90°回して外します。

※ 最初、タンク内の水は横に飛び散るので、壁を濡らさないようにしてください。



5. ストレーナーと温水タンク水抜栓を確実に締め、電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

特に凍結の恐れがある場合：

- 便器鉢内の溜水をくみ出し、不凍液を入れてください。
※ 溜水をくみ出しただけでは、排水管から臭気が上がってきます。
- 給水管内から水を抜く必要があります。水抜き式便器お使いの方は、上記の手順に加えて室内の水抜き栓を操作して、給水管から水を抜いてください。（☞ 32ページ）

6. 再び使用するときには、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しないう場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

※ 給水ホースが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉めてください。 **指示実行**
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

⚠ 注意

- 長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
 - ※ 水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。
- 指示実行**

冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。

電源プラグは抜かずに必ずコンセントに差し込み、電源を入れておいてください。

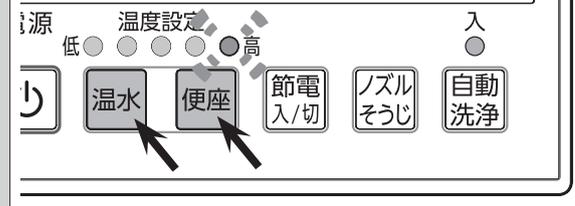
一般的な凍結防止方法

1. 【温水】を「高」、【便座】を「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

2. 室内を暖房します。

※ もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で給水ホースから水を抜いてください。

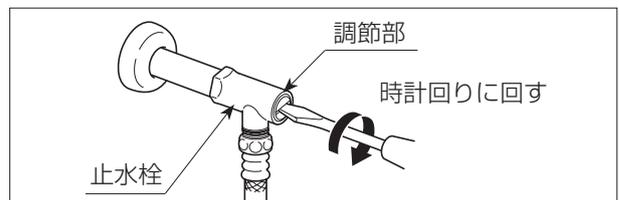


給水ホースの水抜き

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

注意

止水栓の調節部は樹脂製ですので、キズを付ける恐れがあります。必要以上に閉めすぎないでください。

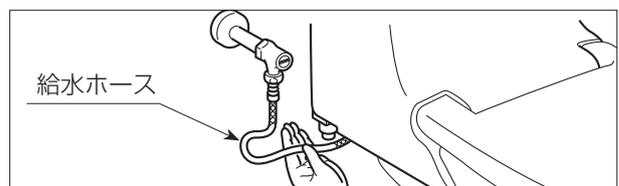


2. 給水ホースから水を抜きます。

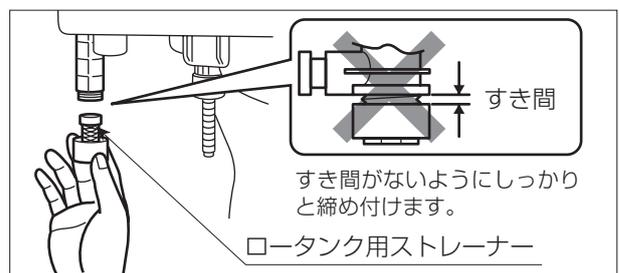
- ① ロータンク用ストレーナーの下に洗面器などを置きます。
- ② ロータンク用ストレーナーを外します。



- ③ 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



3. 水抜き後、ロータンク用ストレーナーをしっかりと締め付けます。
4. 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作して、ロータンク内の水を抜きます。
5. 再び使用するときには、必ず試運転を行ってください。(☞ 9、10 ページ)



警告

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。



指示実行

注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかりと閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

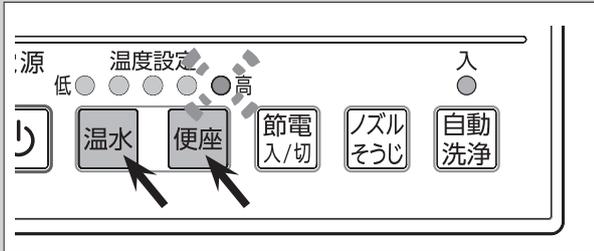


指示実行

流動式便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 【温水】を「高」、【便座】を「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. 室内を暖房します。

3. 流動ボタンを回して押し込みます。

流動ボタンを回して押し込み、ロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。



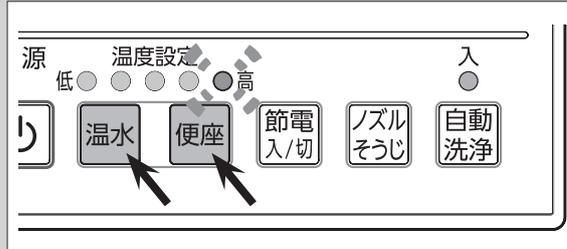
参考

流動ボタンを押し込むと1時間に約60Lの水量が出ます。このとき約-10℃まで凍結を防止します。

水抜栓による凍結防止方法

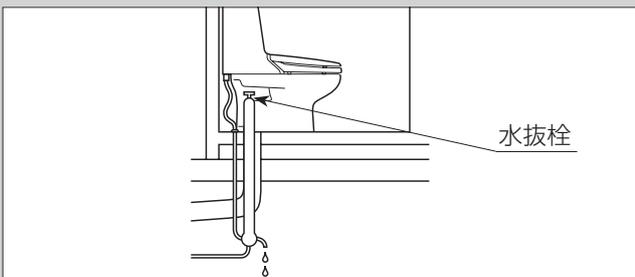
1. 【温水】を「高」、【便座】を「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

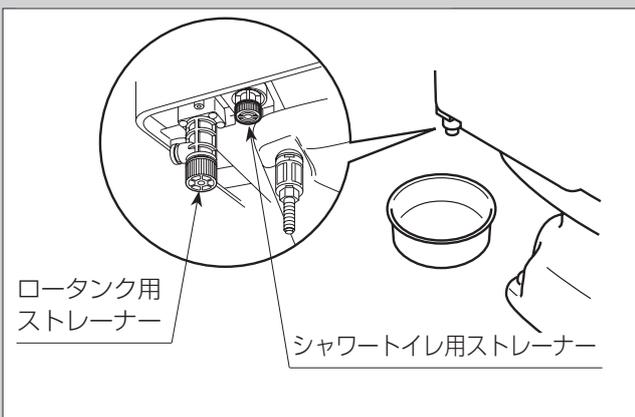


2. 室内を暖房します。

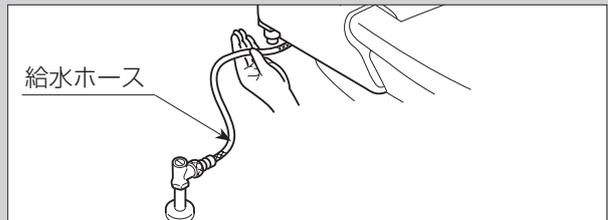
3. 水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。



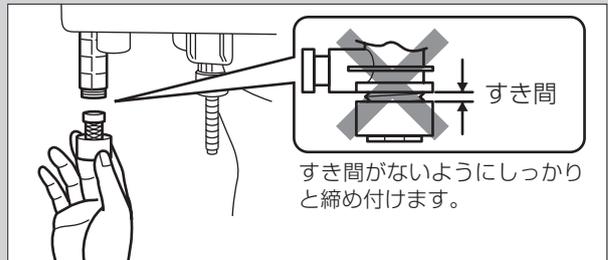
4. ストレーナー（2ヶ所）を外します。



5. 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



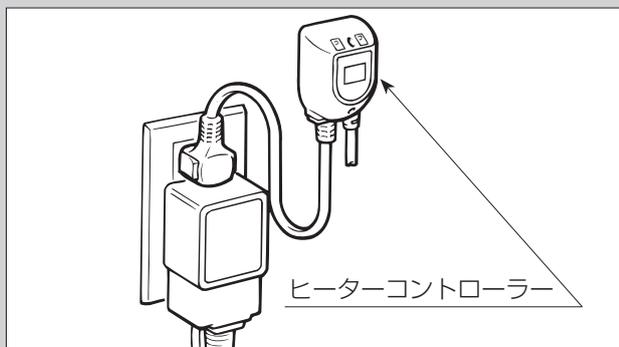
6. 水抜き後、ストレーナーをしっかりと締め付けます。



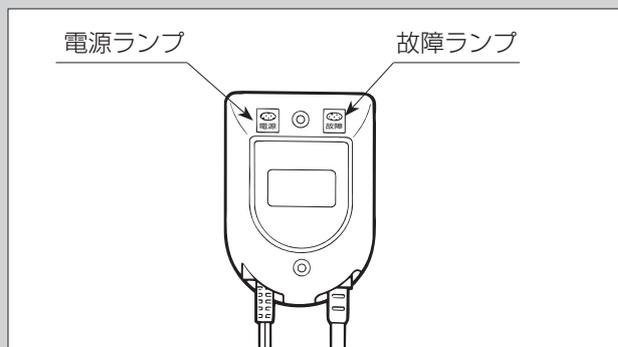
7. 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作して、ロータンク内の水を抜きます。
8. 再び使用するときには、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

ヒーター付便器の凍結防止方法

1. ヒーターコントローラーの電源プラグをコンセントに差し込みます。



2. 電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。



■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出ししない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

※ 給水ホースが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



指示実行

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

全機能

現象	原因	処置
すべての機能が動作しない (電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	【電源】スイッチが「切」(電源ランプ消灯)になっていませんか。	【電源】スイッチを押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。(☞ 12 ページ)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。(☞ 10 ページ)
	漏電していませんか。(漏電表示が点灯している。)	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
リモコンのスイッチを押しても動作しない (電源ランプは点灯している)	リモコンの電池が消耗していませんか。(電池ランプ点滅*)	新しい電池に交換します。(☞ 28 ページ)
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていないですか。	正しい方向に入れます。(☞ 28 ページ)
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。
	インバータ照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。

* : リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり・ビデ洗浄

現象	原因	処置
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。(☞ 9 ページ)
	シャワー用ストレーナーが目詰まりしていませんか。	シャワー用ストレーナーの掃除をします。(☞ 27 ページ)
	水道圧が低いんですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。水道圧が低い場合、洗浄強さが最弱ではシャワーが出ないことがあります。(☞ 13 ページ)
	着座センサーが入っていますか。	便座に座ってください。(☞ 20 ページ)
	温水タンクが満水になっていませんか。	試運転を行います。(☞ 9、10 ページ)

おしり・ビデ洗浄（つづき）

現象	原因	処置
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水】スイッチを押し、適当な温度に調節します。(☞ 12 ページ)
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。(☞ 20 ページ) 貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。(☞ 17 ページ)

暖房便座

現象	原因	処置
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	【便座】スイッチを押し、適当な温度に調節します。(☞ 12 ページ)
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。(☞ 17 ページ)
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。(☞ 18 ページ)

フルオート便器洗浄

現象	原因	処置
自動で便器洗浄しない	【自動洗浄】スイッチが「切」になっている。	【自動洗浄】スイッチを「入」にします。(☞ 16 ページ)

脱臭

現象	原因	処置
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便座が水で濡れていたり、汚れていませんか。	便座を掃除します。
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。(☞ 15 ページ)
脱臭効果が弱くなった。(ニオイが気になる)	脱臭カートリッジにホコリなどが付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。(☞ 26 ページ)
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。(☞ 26 ページ)

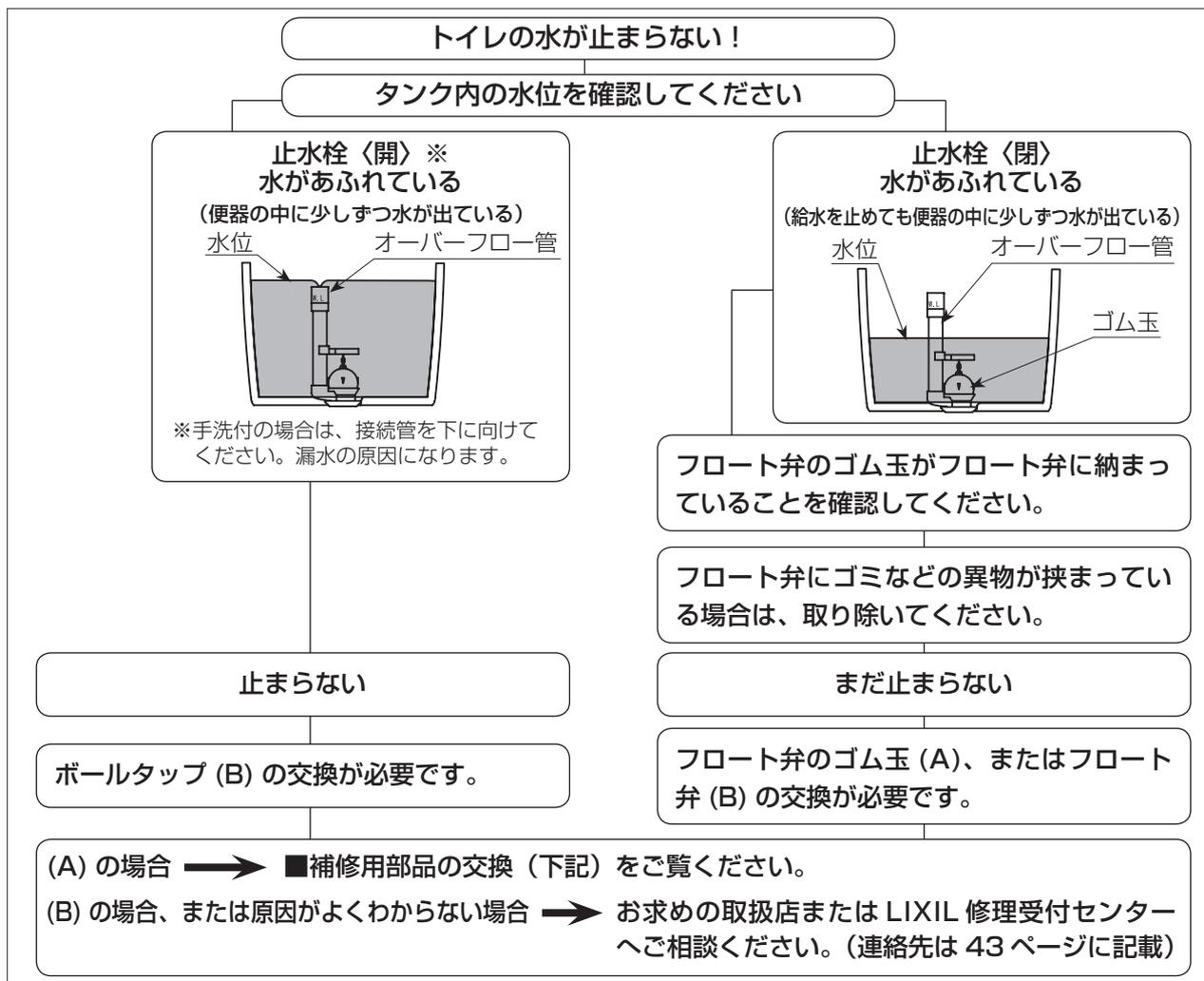
その他

現 象	原 因	処 置
□タンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を十分開いてください。 (☞ 9 ページ)
	ストレーナーが汚れていませんか。	ストレーナーを掃除してください。 (☞ 27 ページ)
□タンクまたは便器下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。
本体から“グググ”と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●【電源】スイッチを入れたとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。洗浄強さの調整や洗浄位置の調整に、異常がなければ問題ありません。	
電源ランプが点滅している	温水・便座のいずれかの機能に不具合が生じている。	【電源】スイッチを「切」にしても点滅している場合は、故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。 (☞ 40 ページ)
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。	
お買い上げ時の設定に戻りたいとき	〈より快適な機能〉で変更した機能を、全てお買い上げ時の設定に戻します。	【おしり】 + 【温水】 + 【便座】スイッチを同じタイミングで2秒以上押してください。 (☞ 19 ページ)

《便器洗浄水がなかなか止まらない場合》

便器洗浄後 5 分以上たっても洗浄水が止まらない場合は、洗浄ハンドルが真下を向いているかを確認してください。ハンドルが真下を向いていても洗浄水が止まらない場合は、止水栓を時計回りに回して給水を止め、ロータンクフタおよび中フタを外して以下の確認を行ってください。(ロータンクフタ・中フタの外し方は次ページ参照)

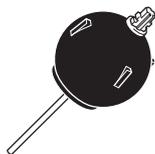
※ 止水栓の操作のしかたは〈ロータンクへの給水時間が長くなりはじめたら〉(27 ページ) をご覧ください。



■補修用部品の交換

フロート弁が劣化したり、キズ付いたりすると止水不良を起こすことがあります。この場合は、対象部品を交換する必要があります。

■取替用フロートゴム玉 (品番: TF-10R-L)



※ 交換方法は、付属の説明書をご覧ください。

※ 購入方法は、45 ページ “別売品の購入方法” をご覧ください。

■ロータンクフタ・中フタの外しかた、組み付けかた

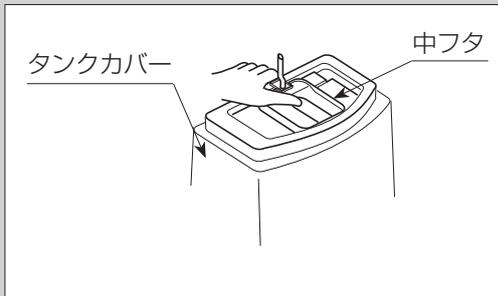
ロータンクフタ・中フタの外しかた

1. ロータンクフタを外します。

注意

ロータンクフタを外す際には、電源を切ってください。

※ フルオート便器洗浄が作動して接続管から水が噴き出し、床や壁を濡らす恐れがあります。また、電装部品に水がかかると故障する原因となります。

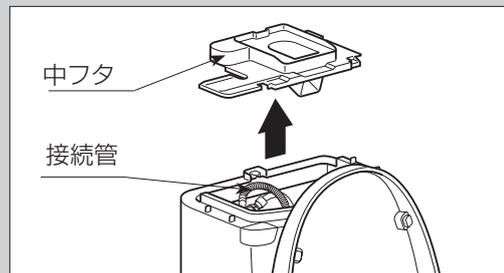


2. 中フタ中央とタンクカバーをはさむようにして中フタツメの勘合を外し、中フタを外します。

注意

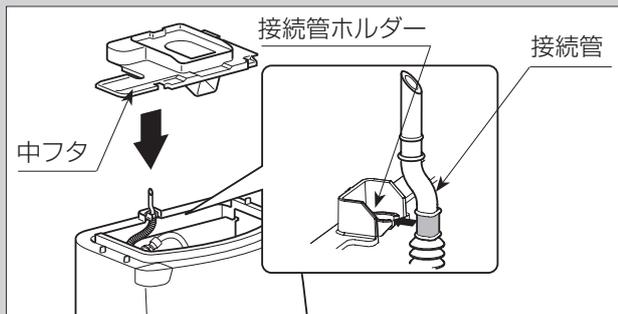
接続管の出口は必ずタンク内の下に向けてください。

※ 上に向いていると、タンクの外に水が飛び出します。



ロータンクフタ・中フタの組み付けかた

1. 手洗付の場合は、接続管をロータンクの接続管ホルダーの形状に合わせて確実に差し込みます。

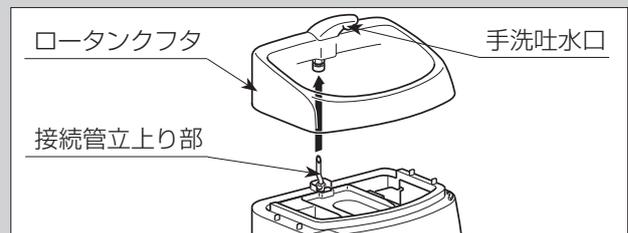


2. 中フタを取り付けます。

3. ロータンクフタをロータンクに取り付けます。

注意

- 手洗付の場合は、手洗吐水口の下端部に接続管立上り部を確実に差し込んでください。
- ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。



安全・安心にお使いいただくために

製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦4桁で表示してあります。）

 警告	【想定安全使用期間】 10年 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。
--	---



(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	4人家族（男性2人、女性2人）において、大便：1回/日・人、小便男性：4回/日・人、小便女性：4回/日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

◆経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

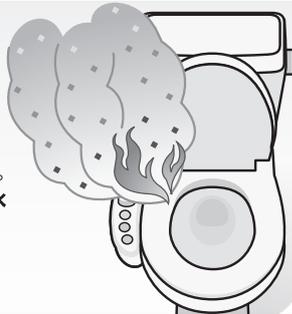
重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。



故障したまま使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。異常に気づいたら、すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある | <input type="checkbox"/> 製品から水漏れしている(内部の電子・電気部品が被水) | <input type="checkbox"/> 電源コードが熱くなっている |
| <input type="checkbox"/> 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている | <input type="checkbox"/> 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている | <input type="checkbox"/> 電源プラグの差込部が発熱・変色している |
| <input type="checkbox"/> 便座にひびや割れがある | <input type="checkbox"/> (内部の電子・電気部品が被水) | <input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある |

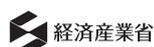
一般社団法人
発行元：日本レストルーム工業会

<http://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ



詳細はこちらをご覧ください



一般社団法人
リビングアメニティ協会

1. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

■ 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

- 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、**取付けの日から6年後です。**

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。

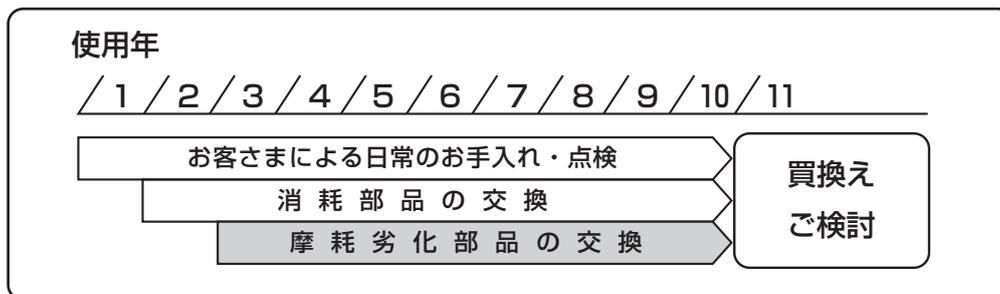
■ 摩耗・劣化する部品の点検

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。

点検の目安は、**取付けの日から3年後です。**

- 摩耗・劣化する部品の例

例) 止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、脱臭ファンなど
〈定期的な点検・部品交換の目安〉



■ 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用される場合

■ 長期間のご使用により点検ランプが点灯した場合（☞本ページ）

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約10年経過後に、電源ランプが連続して1秒間に約5回の点滅を繰り返します。

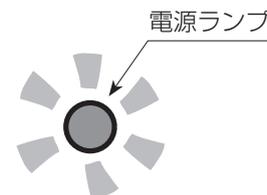
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障が無いかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。

この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※ お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。

※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-179-400）



温水洗浄便座は電気製品です。長期間のご使用による経年劣化や、故障したままのご使用は事故に至る恐れがあります。故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身で行うことができます。
 下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
 故障を発見した場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合 次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
 電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。
 (電源プラグがない機種は、本体の点検口フタ内の電源スイッチでシャワートイレ本体の電源を切ってください。)

	点検目安*	実施日						
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。								
 ① 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？	年2回以上	//	//	//	//	//	//	//
 ② 便座が異常に熱いときや冷たいときはありますか？	月1回	//	//	//	//	//	//	//
 ③ 便座の開閉はスムーズですか？便座のガタツキはありますか？	年2回以上	//	//	//	//	//	//	//
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。								
 ④ 水漏れがありませんか？ 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	//	//	//	//	//	//	//
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。								
 ⑤ 電源コードが熱くなっていませんか？傷んだり、挟み込んだりしていませんか？	月1回	//	//	//	//	//	//	//
 ⑥ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか？	月1回	//	//	//	//	//	//	//
 ⑦ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？ はい <input type="checkbox"/> → ほこりを取り除いてください。	月1回	//	//	//	//	//	//	//

*点検目安は当社おすすめの間隔です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

安全・安心にお使いいただくために

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな?と思ったら」(☞ 34 ページ以降)を参照してください。

それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- コードの傷みやコンセントのガタつき
- コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

他社製ロータンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

ロータンク内の部品による不具合・故障において、フルオート便器洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。

※フルオート便器洗浄ユニットとは、自動で便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品(鎖・フロートゴムなど)は、保証の対象外となります。

警告



分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※感電・火災・ケガの原因になります。



指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※感電・火災・室内浸水の恐れがあります。



指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障(異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水)した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※感電・火災・漏水の恐れがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
(便フタ裏または製品本体に貼ってある表示をご覧ください。)
3. お取付日(保証書をご覧ください。)
4. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
5. 訪問ご希望日

※ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってある表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

品名
品番
色番
製造番号



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 12 年です。

点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。

保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承ください。

※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合わせは

商品のお問い合わせ



LIXIL お客様相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日 9:00 ~ 18:00

土・日・祝日 9:00 ~ 17:00

※ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

6. 商品についての修理・定期点検のご依頼は

修理・点検のご依頼



製品品番が不明な場合は、お客様相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

【受付時間】 9:00 ~ 20:00
(365日受付)

7. 延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、リクシルオーナーズクラブへの会員登録をされますと無料でさらに延長されます。

Web からご登録いただくか、同梱の「オーナーズクラブ会員登録 兼 長期保証サービスお申込みハガキ」に必要事項を記入し、郵送してください。

※ 詳しくはご購入時にお渡しの「リクシルオーナーズクラブご登録（所有者登録）のお願い」をご覧ください。

※ 非住宅でご使用の場合は、Web からのご登録のみとなり、保証期間は 1 年の延長となります。

8. 登録手順

■ Web の場合

「リクシルオーナーズクラブウェブサイト」からご登録をお願いします。

シャワートイレ以外の製品を含め、複数の LIXIL 製品の保証延長を一度にご登録いただけます。ご登録いただきました会員さま専用のマイページをご用意いたします。お掃除がラクになるお手入れ方法など心地良い暮らしのヒントになる情報をお知らせしてまいります。

1. あらかじめ製品の本体に表示しています製品情報（品番・製造番号）をご確認ください。
2. スマートフォンやパソコンから以下のサイトへアクセスし、手順に従ってご登録ください。
<https://lixil.to/locw01>

※ご登録にはメールアドレスが必要になります。

3. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。

※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
(取扱説明書のアフターサービスを参照ください。)

4. 登録完了後、「オーナーズクラブマイページ」から登録製品および延長保証書をご確認ください。



■ ハガキの場合

同封のハガキにてご登録をお願いします。

※非住宅でご使用のお客さまは Web のみのご登録となります。

※切手は不要です。また万一有効期限が過ぎていてもそのまま投函ください。

1. オーナーズクラブ会員登録ハガキに必要事項をご記入ください。

※記入もれがありますと、登録できない場合があります。フリガナも必ずご記入ください。

※取付日は必ずご記入ください。

※電話番号は延長保証書が宛先不明で返送された際の確認などに必要です。必ずご記入ください。

2. 保証書に製造番号、品名・品番をご記入ください。また、ハガキ投函後にハガキご郵送日をご記入ください。

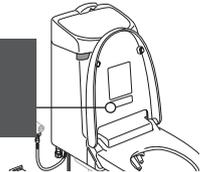
※製造番号・品名・品番は便フタまたは製品本体の表示をご覧ください。
(取扱説明書のアフターサービスを参照ください。)

3. 登録完了後に延長保証書をご登録いただいたご住所にお送りいたします。

当社から 2 ヶ月を目途に郵送させていただきます。届きましたら、

この書面とあわせて大切に保管してください。お手元に届かないときは、申込みが受理されていない可能性があります。お客さま保守センターにお問い合わせください。

製造番号
品名
品番



所有者登録・延長保証のお問い合わせは、

お客さま保守センターまで

受付時間 / 平日 10:00 ~ 17:00 ※土日祝・夏期・年末年始の休みは受け付けておりません。

TEL ☎ 0120-179-473

9. 個人情報のお取扱いについて

ご登録いただいたお客さまの情報は、次の目的に利用させていただきます。

- ・お客さまに対してダイレクトメール、電子メール等による情報（製品安全に関する大切なお知らせ、当社商品・サービスに関わる情報など）をご提供するため
- ・リクシルオーナーズクラブの特典やキャンペーン等で当選したプレゼントをお客さまにお届けするため
- ・商品やサービスについてお客さまの利用状況や満足度を調査するため

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページ「プライバシーポリシー」をご覧ください。

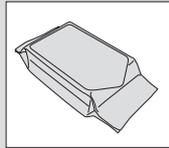
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

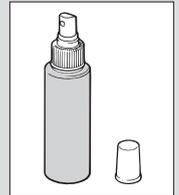
■ トイレ用おそうじティッシュ (4個セット品番 : CWA-36-4SET) (12個セット品番 : CWA-36-12SET)

樹脂を傷めず、除菌効果に優れた
トイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
(☞ 23 ページ)



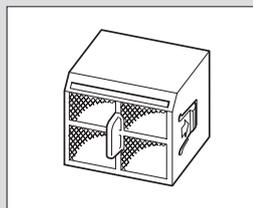
■ シャワートイレお掃除クリーナー (品番 : CWA-20)

樹脂を傷めないスプレー式シャ
ワートイレ専用洗剤です。シュッ
と吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用にな
れます。(☞ 23 ページ)



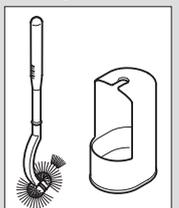
■ 取替え用脱臭カートリッジ (品番 : CWA-29)

脱臭カートリッジの寿命は、
約7年です。ニオイが気にな
りだしたら交換してくだ
さい。
(☞ 26 ページ)



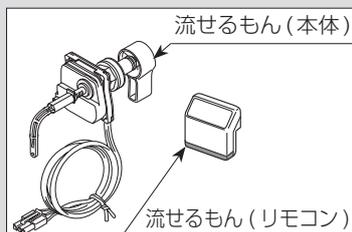
■ お掃除ブラシ (品番 : CWA-48、CWA-48-A)

便器のプロガード表面をキズ付け
ないブラシです。便鉢の裏側まできれ
いに洗い落とせます。(☞ 23 ペ
ージ)
※ CWA-48-A はケースが付きません。



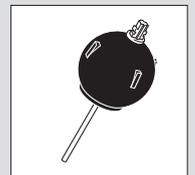
■ 流せるもん (品番 : CWA-69)

便座から立ち上がる
だけで便器洗浄を行
います。
リモコンでも操作で
きます。



■ 取替用フロートゴム玉 (品番 : TF-10R-L)

フロート弁のゴム玉が劣化や破損
している場合の補修用部品です。
(☞ 37 ページ)



別売品の購入方法



■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。ご注文の商品によって異なりますが、ご注文確認後7日～10日以内で発送させていただきます(但し、夏季休暇、年末年始、ゴールデンウィークを除きます)。お支払方法は代引きでのお支払い(代金引換決済)のみとなります(振込み、クレジット支払いなどは不可となります)。

その他配送料金などの詳細は、下記のフリーダイヤルもしくはホームページにてご確認ください。



LIXIL 水まわり部品公式通販サイト LIXIL PARTS SHOP

Web

検索

<http://parts-shop.lixil.co.jp/>

※インターネットではお取り扱いしていない商品もございます。
部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。



LIXIL パーツショップ水まわり部品販売窓口 TEL ☎ 0120-126-015

受付時間 平日 9:00～17:00
(土日祝日・ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み)

仕様

シリーズ名	リフレッシュ シャワートイレ (タンク付)			
グレード	MC タイプ	CC タイプ		
定格電源	AC100V 50/60Hz			
定格消費電力	350W	347W		
省エネ区分	貯湯式			
年間消費電力量※	215kWh/年 (節電機能切時: 301kWh/年)	215kWh/年 (節電機能切時: 302kWh/年)		
給水圧力	最低必要圧力	0.06MPa(流動時)		
	最高圧力	0.75MPa(静水圧)		
使用温度範囲	0℃～40℃			
商品寸法	幅 415mm × 奥行 770mm × 高さ 911mm (手洗なし)/1035mm(手洗付)	幅 415mm × 奥行 740mm × 高さ 911mm (手洗なし)/1035mm(手洗付)		
商品質量	約 10kg			
電源コード(電源接続方式)	有効長さ 1.2m(漏電保護機能、アースコード付)			
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式	
		給湯方式(タンク容量)	貯湯式(0.90L)	
		おしり吐水量	0.00～0.90L/分(供給水圧 0.2MPa のとき)	
		ビデ吐水量	0.00～0.90L/分(供給水圧 0.2MPa のとき)	
		温水温度	切(水温)・約 32℃～40℃(6段階切替)	
		ヒーター容量	300W	
		安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空焚検知回路	
	暖房便座	表面温度	切(室温)・約 28℃～40℃(6段階切替)	
		ヒーター容量	48W	45W
		安全装置	温度ヒューズ	
脱臭部	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式		
	脱臭能力	パワー脱臭時: 0.11m ³ /分 フルパワー脱臭時: 0.14m ³ /分		
リモコン	壁リモコン	寸法	幅 176mm × 奥行 24mm × 高さ 110mm	
		電源	単三アルカリ乾電池: 2本	

* 省エネ法(2012年度基準)に基づいた測定値 ■洗浄水量は対応便器により異なります(全タイプ共通)。

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

修理・お取扱いのご相談

よくお読みください

修理を依頼する前に
ご確認ください

故障かな?と思ったら.....34 ~ 36 ページ

上記を確認しても
改善しない場合

まず、お求めの取扱店へご相談ください。

お問い合わせの際は、修理対象商品の下記内容をご確認ください。

トイレ：シリーズ名、品番

※ 左記内容が確認されていると、スムーズな修理対応が行えます。確認できる範囲で構いません。ご協力よろしくお願いします。

取扱店	ご購入年月日	年	月
	TEL ()	-	

※ お取扱店がわからない・ご連絡できない場合は、下記のお客さま窓口へお問い合わせください。

お客さま窓口

LIXIL 公式 HP
お客さまサポート



リクシル お客さまサポート

検索

<http://www.lixil.co.jp/support/>

●メールでのお問い合わせ、Web 修理受付、Web パーツ販売をご利用いただけます。
その他コンテンツ
Q & A、所有者登録、長期保証サービスお申込み、お手入れ動画などがございます。

商品のお問い合わせ



LIXIL お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

※上記番号がご利用いただけない場合は、下記をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

【受付時間】 平日 9:00 ~ 18:00

土・日・祝日 9:00 ~ 17:00

※ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

修理・点検のご依頼



製品品番が不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センターへ

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

【受付時間】 9:00 ~ 20:00
(365日受付)



Web 窓口は上記から

別売品のご購入



部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL パーツショップ 〔水まわり〕
〔部品販売〕 へ

TEL ☎ 0120-126-015

<http://parts-shop.lixil.co.jp/>

【受付時間】 平日 9:00 ~ 17:00

※土日祝日・ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始休み

●パーツショップは、お客さまご自身でお取換えいただける部品を宅配サービスにて取扱いする窓口です。お取換え作業時に特別な資格、技術が必要なものや、安全性に関わる部品は取扱っていません。



個人情報のお取扱いについて

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>